

業務状況説明書(水道事業)

(令和2年4月1日から令和2年9月31日まで)

1. 令和2年度上半期の状況

令和2年度より清川・緒方・大野・犬飼の各簡易水道を上水道に統合

(1) 事業の概況

ア. 業務

区分	令和元年度 上半期	令和2年度 上半期	比較	
			増減	前年度比
給水戸数(戸)	6,657	10,673	4,016	160.3%
有収水量(m ³)	847,645	1,304,053	456,408	153.8%

イ. 建設改良事業

○5,000千円以上の発注済工事

該当なし

(2) 経理の状況

ア. 収益的収入及び支出

(単位:円・税込)

科目		現計予算額	執行額	執行率	備考
収入	水道事業収益	546,491,000	226,320,455	41.4%	
	営業収益	452,601,000	225,566,313	49.8%	
	営業外収益	93,888,000	754,142	0.8%	
	特別利益	2,000	0	0.0%	
支出	水道事業費用	580,960,000	141,634,716	24.4%	
	営業費用	524,986,000	115,708,559	22.0%	
	営業外費用	50,873,000	25,902,487	50.9%	
	特別損失	101,000	23,670	23.4%	
	予備費	5,000,000	0	0.0%	

イ. 資本的収入及び支出

(単位:円・税込)

科目		現計予算額	執行額	執行率	備考
収入	資本的収入	132,418,000	0	0.0%	
	企業債	67,750,000	0	0.0%	
	出資金	55,197,000	0	0.0%	
	工事負担金	9,470,000	0	0.0%	
	固定資産売却代金	1,000	0	0.0%	
支出	資本的支出	411,896,000	125,050,437	30.4%	
	建設改良費	186,747,000	15,443,207	8.3%	
	企業債償還金	220,149,000	109,607,230	49.8%	
	予備費	5,000,000	0	0.0%	

ウ. 地方債の状況

(単位:円)

前年度残高	上半期中		年度末残高	備考
	借入額	償還金		
3,441,876,811	0	109,607,230	3,332,269,581	

2. 令和元年度決算の概要

令和元年度より千歳簡易水道を上水道に統合

(1) 事業の状況

ア. 業務

区分	平成30年度	令和元年度	比較	
			増減	前年度比
計画給水人口(人)	15,300	25,325	10,025	165.5%
年度末給水人口(人)	14,921	23,536	8,615	157.7%
普及率(%)	97.5	92.9	△4.6	95.3%
年度末給水戸数(戸)	6,644	10,658	4,014	160.4%
年間有収水量(m ³)	1,704,919	2,571,003	866,084	150.8%
年間総配水量(m ³)	2,080,780	3,852,265	1,771,485	185.1%
有収率(%)	81.9	66.7	△15.2	81.4%
日最大配水量(m ³)	6,314	11,413	5,099	180.8%
日平均配水量(m ³)	5,701	10,525	4,824	184.6%
1人1日平均配水量(ℓ)	382	447	65	117.0%
1人1日平均有収水量(ℓ)	313	298	△15	95.2%

イ. 建設改良事業

建設改良工事では、51,275,833円の事業費をもって、施設関係では犬飼浄水場送水ポンプ及び制御装置更新工事、清川地区監視機能更新工事、大野町第3水源緊急井戸整備工事等を実施しました。配水管路については久知良地区配水支管新設工事を実施しました。また、県道改良工事に伴う配水管移設工事を実施しました。

○5,000千円以上の工事

(単位：円・税込)

工事名	工事費	備考
犬飼浄水場送水ポンプ及び制御装置更新工事	16,524,000	

(2) 経理の状況

ア. 収益的収入及び支出

本年度の収益的収入は、予算額563,525,000円に対し、決算額517,124,238円(うち消費税及び地方消費税額 36,158,274円)で、46,400,762円の減となっています。また、前年度に比べ税抜金額で177,147,976円(58.3%)の増となっています。内訳として、営業収益で143,461,131円(53.4%)増、営業外収益で33,583,048円(95.8%)増、特別利益で103,797円(皆増)となっています。

一方、収益的支出は、予算額576,011,000円に対し、決算額555,753,079円(うち消費税及び地方消費税額 21,281,062円)で20,257,921円の残額となっています。また、前年度に比べ税抜金額で181,181,527円(51.3%)の増となっています。内訳として、営業費用で原水及び浄水費75,753,187円(92.1%)増、配水及び給水費42,170,906円(105.0%)増、総係費314,008円(△1.1%)減、減価償却費49,270,170円(31.2%)増、資産減耗費138,658円(△25.9%)減、営業外費用で企業債利息10,989,808円(25.5%)増、特別損失559,934円(1,283.7%)増となりました。

結果、収益的収支で53,506,053円(前年比8.2%増)の当期純損失となりました。

(単位：円・税込)

科目		平成30年度	令和元年度	増減	前年度比	備考
収入	水道事業収益	325,249,868	517,124,238	191,874,370	159.0%	
	営業収益	290,197,775	448,373,441	158,175,666	154.5%	
	営業外収益	35,052,093	68,639,000	33,586,907	195.8%	
	特別利益	0	111,797	111,797	皆増	
支出	水道事業費用	364,289,755	555,753,079	191,463,324	152.6%	
	営業費用	319,851,473	496,830,127	176,978,654	155.3%	
	営業外費用	44,391,162	58,271,158	13,879,996	131.3%	
	特別損失	47,120	651,794	604,674	1383.3%	
	予備費	0	0	0	—	

イ. 資本的収入及び支出

次に、資本的収入は、予算額91,118,000円に対し、決算額56,214,113円で、34,903,887円の減となっています。また、前年度に比べて39,427,072円（234.9%）の増となっています。内訳として、出資金で39,443,466円（245.7%）増、工事負担金で16,394円（△2.2%）減となっています。

資本的支出は、予算額268,020,000円に対し、決算額238,365,326円（うち消費税及び地方消費税額4,947,011円）で、29,654,674円の残額となっています。また前年度に比べて税抜金額で134,631,510円（136.3%）の増となっています。内訳として、建設改良費35,312,353円（115.2%）増、企業債償還金（元金）は、99,319,157円（145.8%）増となりました。

(単位：円・税込)

科目		平成30年度	令和元年度	増減	前年度比	備考
収入	資本的収入	16,787,041	56,214,113	39,427,072	334.9%	
	企業債	0	0	0	—	
	出資金	16,051,367	55,494,833	39,443,466	345.7%	
	工事負担金	735,674	719,280	△ 16,394	97.8%	
	固定資産売却代金	0	0	0	—	
支出	資本的支出	100,439,031	238,365,326	137,926,295	237.3%	
	建設改良費	32,298,961	70,906,099	38,607,138	219.5%	
	企業債償還金	68,140,070	167,459,227	99,319,157	245.8%	
	予備費	0	0	0	—	

資本的収支差引不足額182,151,213円は、当年度消費税及び地方消費税資本的収支調整額4,947,011円、過年度分損益勘定留保資金173,240,832円、当年度分損益勘定留保資金3,963,370円で補てんしました。

ウ. 地方債の状況

(単位：円)

前年度残高	決算年度中		前年度残高	備考
	借入額	償還金		
3,609,336,038		167,459,227	3,441,876,811	0